

情報公開文書

下記臨床研究は「JA 北海道厚生連札幌厚生病院倫理委員会」の承認および病院長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用は研究計画書に従って、個人情報保護に配慮した仮名加工、匿名加工等の処理が適切に行われており、研究対象者の氏名や住所等の個人情報が特定できないよう、個人情報保護法を遵守して安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また本研究の成果は専門領域の学会や論文で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方、またはその代理人の方で試料・診療情報等が使用されることについてご了承いただけない場合は担当者にご連絡ください。なおその申出は研究成果の公表前までの受付となりますことをご了承願います。

「難治性瘻孔のセルフケア支援により在宅療養が可能となった一例」に関する研究

1 研究の対象

2021年11月22日から2022年11月8日までの間に、JA 北海道厚生連札幌厚生病院婦人科、外科で肛門管癌、子宮頸癌についての診断、手術、化学療法を受けられた方

2 研究目的

難治性瘻孔の看護実践内容から、他の患者にも適用できる知見を得る。

3 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報：診断名、年齢、性別、身体所見、看護記録等

4 研究組織

当院単独での研究です

5 情報の提供先・提供方法

該当なし

6 利益相反に関する事項

本研究は特定の企業等からの資金等の提供は無いため利益相反はありません。

7 お問い合わせ先

JA 北海道厚生連札幌厚生病院（☎:代表 011-261-5331 内線 4206）

研究責任者:診療看護支援室 宮田 照美